



# 本日まで議論いただきたい点について

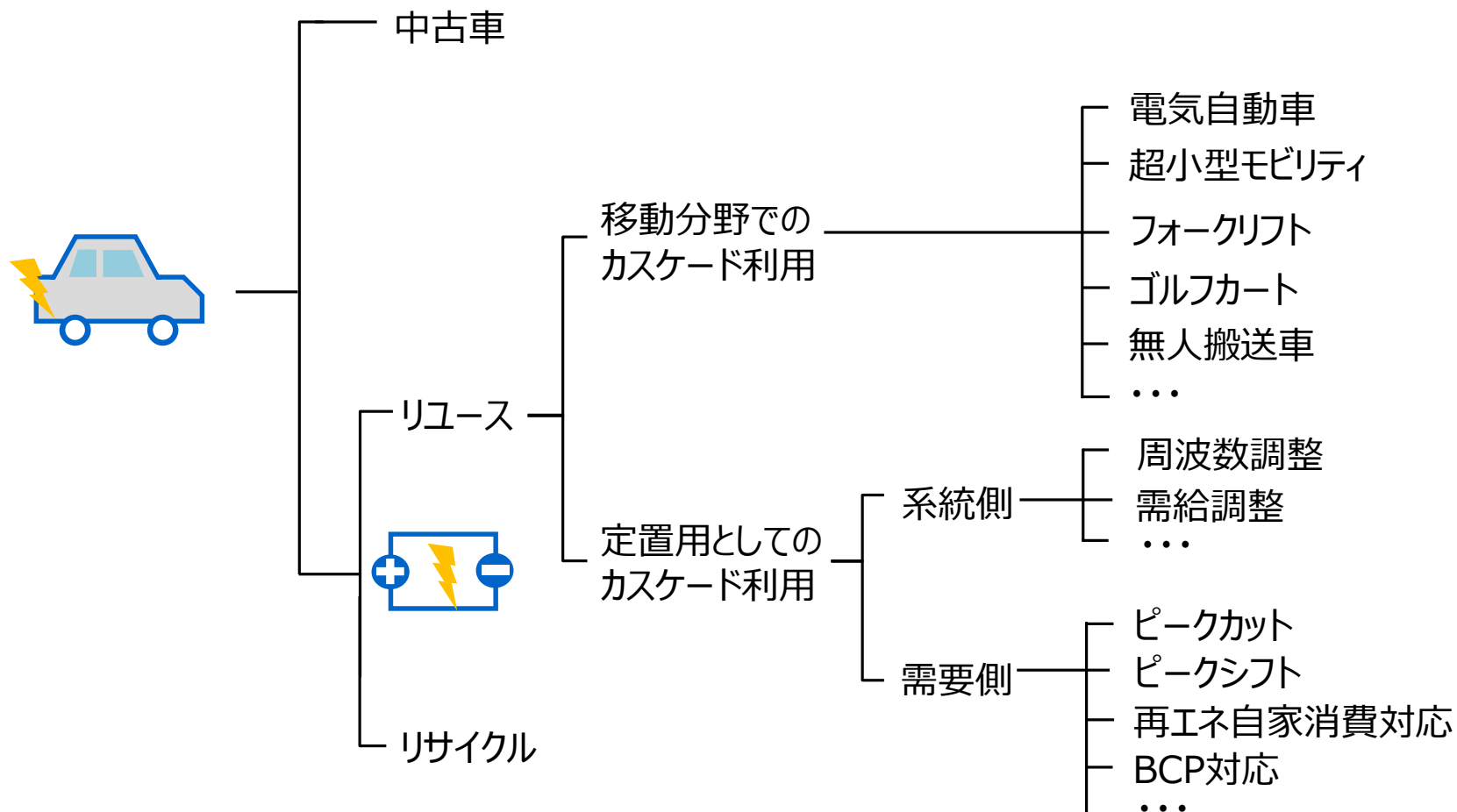
2019年12月25日

電動車活用社会推進協議会事務局

# 想定されるユースケース

- 本WGでは、車載用電池の二次利用に関する事業者・自治体等の事例やニーズから、リユースを促進するために必要な環境整備等について整理する。

## 想定されるユースケース



# リユース促進に向けた課題整理

- これまでの調査や本日の事業者・自治体からのプレゼンテーション等を踏まえると、車載用電池のリユースシステムの実装にあたっては、以下の課題が挙げられる。

## 事業者の声（一例）

- リユースバッテリー市場の規模感（例：発生量）がつかめない
- リユースバッテリーを活用することによるコストメリットが小さい
- リユースバッテリーを活用することによる副次的効果（例：CO2削減効果）が評価できていない
- 回収したリユースバッテリーの寿命・残存性能・安全性がわからない
- 車からの回収～リユース後の最終処分までの仕組みがない

## 本日も議論いただきたいこと

- ① リユースバッテリーの用途として、どのような受け皿が今後拡大していく、もしくは、拡大していくべきと考えるか？
- ② リユースバッテリーの活用促進に向けた課題は何か？
- ③ リユースバッテリーの活用促進に向けて、解決すべき課題は何か？  
特に、国に期待することは何か？